

2025(令和7)年度版

各教科の評価方法と学習の手引き



岸和田市立春木中学校

2021（令和3）年度から、評価の方法が変わっています。

文部科学省が定める「学習指導要領」が改訂され、中学校は2021（令和3）年度から、各教科の評価の方法が変更になりました。

主な変更点は、以下の2つです。

- ① 各教科の「評価の観点」が、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3つに統一されて、それぞれの観点での評価を、A・B・Cの3段階で評価します。
- ② ①の3つの観点での評価をもとに、教科の「評定」を、5～1の5段階の数字で示します。

これを受けて、春木中学校では、右の表にあるような方法で評価を行っています。保護者の皆様、生徒の皆さんは、内容を確認しておいてください。

なお、各教科ごとに、先生方から授業や家庭での学習のアドバイスもあわせて示しています。ぜひ参考にしてください。

春木中学校では、生徒の皆さん一人一人の頑張りをうながし、より学習に前向きになれるような評価のつけ方を、今後も研究し続けたいと考えています。

皆さんも、主体的・積極的に学習に取り組んでいきましょう。



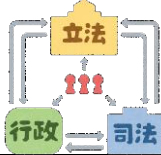
春木中学校の各教科の成績の出し方（道徳を除く）

評価の観点 (全教科共通です)		各観点の 主な評価の方法 下の例のようなものがあり、 <u>各教科によって、独自の評価 方法を決めています。</u> (教科別 の欄参照)	観点別評価 (ABC) の区分け (全教科共通です)	評定 (5段階) のつけ方 (全教科共通です)
知識 ・ 技能	主に、その教科の「基礎・基本」となる知識や技能が、習得されているかを評価します。	(例) 小テスト 実技テスト 単元テスト 定期テスト 作品評価 など	左の「評価の方法」で、各項目の評価を点数化し、その合計点をもとに、以下のように区分けします。	3観点の「ABC」の組み合わせをもとにして、5段階の評定をつけます。 【5】 AAA 【4】 AAB ABB 【3】 AAC BBB ABC BBC 【2】 ACC BCC 【1】 CCC
思考 ・ 判断 ・ 表現	習得した知識・技能を取捨選択し、関連づけて、発展させ、工夫して活用したり、表現できるかを評価します。	(例) 単元テスト 定期テスト ノート・ワークシート レポート・調査研究の内容 作品・実技の評価 発表・プレゼンテーション など	A… 80%以上 B… 80%未満、 40%以上	
主体的 に学習 に取り組む 態度	「言われたことを指示通りやる」だけでなく、粘り強く、工夫して、「自分なりの学び方」を自ら獲得しようとして努力しているかを評価します。	(例) ノート・ワークシート 学び合いなどの授業観察 自己評価・相互評価 調査研究発表・レポート プレゼンテーション 自主学習ノート など	C… 40%未満	ただし、 大阪府の「チャレンジ テスト」の結果で、変 更の可能性がありま す。

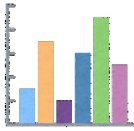
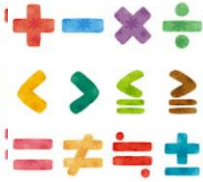
国 語

評価の観点		主な評価の方法	どんなことに 気をつけて、学習す ればよいのか	家庭学習の アドバイス
知識 ・ 技能	主に、その教科の「基礎・基本」となる知識や技能が、習得されているかを評価します。	小テスト 定期テスト 学力診断テスト 	反復学習と丁寧さ、粘り強さが大切です。 小テストなどの積み重ねを大切にしてください。	 国語の学習では、「繰り返し」を大切に！教科書の音読や漢字の学習は、きちんと間違えなくなるまで反復学習を大切にしましょう！
思考 ・ 判断 ・ 表現	習得した知識・技能を取捨選択し、関連づけて、発展させ、工夫して活用したり、表現できるかを評価します。	授業課題 スピーチ内容・原稿 定期テスト 学力診断テスト 	作文やスピーチなどの自己表現を大切にしましょう。 「苦手だから短くてもいい。」と考えるのではなく、自分なりの表現を探してしっかりと頑張り続けること。	教科書ワークや授業プリントの課題に取り組む際に、自分で考えて悩む習慣を大切にしてください。 間違えた問題をそのままにするのではなく、「なぜその答えが正しいのか。」を理解することを心がけてください。
主体的 に学習 に取り組 む態度	「言われたことを指示通りやれる」だけでなく、粘り強く、工夫して、「自分なりの学び方」を自ら獲得しようと努力しているかを評価します。	授業課題（プリント） ペア学習 小テスト 暗唱	日々の授業を大切に。 提出プリントやグループワークに真摯に取り組むこと。	

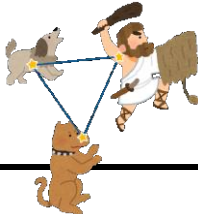
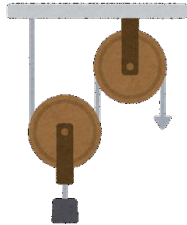
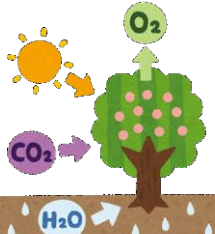
社 会

評価の観点		主な評価の方法	どんなことに 気をつけて、学習す ればよいのか	家庭学習の アドバイス
知識 ・ 技能	主に、その教科の「基礎・基本」となる知識や技能が、習得されているかを評価します。	・定期テスト ・学力診断テスト - 小(単元)テスト ・ワークシート 	・学習した内容を理解し、身につける。 ・キーワードを重点的に繰り返し復習し、覚えるようにする。	・教科書や授業プリントを読み直し、重要語句を重点的に学習する - あわせて、語句の意味も理解できるようにする。
思考 ・ 判断 ・ 表現	習得した知識・技能を取捨選択し、関連づけて、発展させ、工夫して活用したり、表現できるかを評価します。	・定期テスト ・学力診断テスト - 小(単元)テスト ・ワークシート ・振り返り ・レポート	・教科書に出てくる語句を理解し、記述問題を丸暗記するのではなく、なぜそのようになるのかを説明できるようにしておく。	・語句の意味を理解したうえで、記述問題などに取り組む。 ・様々なテキストを繰り返し学習
主体的 に学習 に取り組む 態度	「言われたことを指示通りやれる」だけでなく、粘り強く、工夫して、「自分なりの学び方」を自ら獲得しようとする努力しているかを評価します。	・学習に取り組む姿勢 ・グループワークに取り組む姿勢 ・課題に取り組む姿勢 ・授業プリント ・提出物 ・振り返り ・レポート	・授業中の課題に対して、班やクラスのメンバーと協力して取り組む。 ・自分の考えや意見を答えられるようにする	することで知識を定着させる。 

数 学

評価の観点		主な評価の方法	どんなことに 気をつけて、学習す ればよいのか	家庭学習の アドバイス
知識 ・ 技能	主に、その教科の「基礎・基本」となる知識や技能が、習得されているかを評価します。	定期テスト 小テスト 	学習内容の反復練習を行う。間違えた問題などは繰り返し練習しておくこと。 また、アウトプット（問題に取り組む、他者に説明するなど）を行い、しっかり身についているか確認する。	数学の学習では、予習よりも復習を中心に取り組もう。1度できなかった問題は何回も反復練習をすること。
思考 ・ 判断 ・ 表現	習得した知識・技能を取捨選択し、関連づけて、発展させ、工夫して活用したり、表現できるかを評価します。	定期テスト 小テスト レポート 	教科書やワークの記述問題など、判断した理由を答える問題や、自分の考えを文章で書けるようにしておく。 	数学は積み重ねの教科のため、「分からない」をそのままにしておくと、自分がどんどん苦しくなっていきます。そうならないように、積極的に友達や先生に質問しましょう。 また、思考・判断・表現では、答えを丸暗記するのではなく、そう考える（判断する）理由までしっかりと理解すること。
主体的 に学習 に取り組む 態度	「言われたことを指示通りやれる」だけでなく、粘り強く、工夫して、「自分なりの学び方」を自ら獲得しようと努力しているかを評価します。	授業プリント ワーク 授業の学びあいの様子 	分からない問題でも粘り強く、クラスメイトと協力しながら取り組む。 プリントやワークは答えを書くだけでなく、しっかり自分の考え方（解き方）やメモを書く。 ジャンプ課題にも積極的に取り組む。	

理科

評価の観点		主な評価の方法	どんなことに 気をつけて、学習す ればよいのか	家庭学習の アドバイス
知識・ 技能	主に、その教科の「基礎・基本」となる知識や技能が、習得されているかを評価します。	小テスト 単元テスト 定期テスト 長期休暇の課題 	教科書などにでてくる基本的な単語の意味を覚えておく。 実験・観察時に大事なポイントなどを押さえておく。	知識・技能 プリントやワークなどを使って授業内で進めている部分を定期的に自分で復習する。
思考・ 判断・ 表現	習得した知識・技能を取捨選択し、関連づけて、発展させ、工夫して活用したり、表現できるかを評価します。	単元テスト 定期テスト 単元別レポート 発表レポート 振り返りレポート 長期休暇の課題	理科における事象を言葉で説明できるよう暗記ではなく仕組みを理解するようにする。 	思考・判断・表現 書いてあることをそのまま写すのではなく自分の言葉表現できるように取り組む。 
主体的 に学習 に取り組む 態度	「言われたことを指示通りやれる」だけでなく、粘り強く、工夫して、「自分なりの学び方」を自ら獲得しようとする努力しているかを評価します。	授業プリント 発表レポート 振り返りレポート ペア・班活動 長期休暇の課題	レポート作成や発表において自分なりの表現や最後まで作成する姿勢や成果物の完成を目指していく。 	

音 楽

評価の観点		主な評価の方法	どんなことに 気をつけて、学習す ればよいのか	家庭学習の アドバイス
知識 ・ 技能	主に、その教科の「基礎・基本」となる知識や技能が、習得されているかを評価します。	実技テスト 4教科テスト 	・音楽記号や曲の背景など、楽曲理解のために必要な知識を身につける。 ・自分の思いや意図を、音楽で表現するために必要な技能を身につける。	・授業プリントやワークを復習しましょう。 ・いろいろな「音」や「音楽」に興味を持って聴いてみましょう。
思考 ・ 判断 ・ 表現	習得した知識・技能を取捨選択し、関連づけて、発展させ、工夫して活用したり、表現できるかを評価します。	4教科テスト 実技テスト ワーク 鑑賞レポート 演奏、発表 授業プリント 振り返り 歌唱計画	・音楽記号や曲の背景を学び、イメージをふくらませる。 ・作者の意図や思いを組んでイメージを膨らませて、自分の思いや考えを発表。	勉強した曲を口ずさんでみましょう。
主体的 に学習 に取り組む 態度	「言われたことを指示通りやれる」だけでなく、粘り強く、工夫して、「自分なりの学び方」を自ら獲得しようとしているかを評価します。	ふりかえり・感想 授業プリント 実技テスト 授業での取り組みや活動、学びあいの様子 発言や感想の取り組み方 (量や質) 	・プリントにメモとる、歌唱を暗譜で堂々歌い授業に前向きに取り組む。 ・積極的に発表したり、相手の意見や発表をきく。 ・周囲にも声をかけて活動をリードする	

美術

評価の観点		主な評価の方法	どんなことに 気をつけて、学習す ればよいのか	家庭学習の アドバイス
知識 ・ 技能	主に、その教科の「基礎・基本」となる知識や技能が、習得されているかを評価します。	単元テスト 作品 鑑賞プリント 実技プリント ロイロノート	・形や色、光の効果を理解しているか ・技法の特徴を理解しているか、また実践できているか ・テーマに応じて見通しをもって進められているか ・道具の使い方、明暗の表現、技法の使い方を理解し、それをうまく活用できているか	授業で学んだことや覚えたこと、感じたことなどを作品にどんどん活かしていきましょう。 アイデアをメモしたり、描きたいものをスケッチしたり写真を撮って残しておきましょう。 
思考 ・ 判断 ・ 表現	習得した知識・技能を取捨選択し、関連づけて、発展させ、工夫して活用したり、表現できるかを評価します。	単元テスト 作品 鑑賞プリント 実技プリント (単元テスト) ロイロノート	・鑑賞した作品や、生徒同士の作品を深く観察し、造形的な良さや表現に込められた思いなどを考え、見方や考え方を広げようとしているか ・テーマに沿って伝えたい内容を基に、技法を効果的に使い、表現の構想を練っているか(構図、色彩、オリジナリティなど) ・作品の良さや表現に対しての思いを文章で表現できているか	友達と相談しあったり、先生に質問するなどして、作品をよりよくするために何が必要かを考えながら進めましょう。 
主体的 に学習 に取り組む 態度	「言われたことを指示通りやれる」だけでなく、粘り強く、工夫して、「自分なりの学び方」を自ら獲得しようとする努力しているかを評価します。	作品制作に取り組む姿勢 (計画性・工夫等) 計画表プリント 授業プリント 授業に取り組む姿勢 	・授業を目標をもって計画的に進めているか。 ・振り返りでは単元終了までの見通しをたてているか。 ・考えを形にするために自主的に調べたり、わからない場合は積極的に質問したりしているか。 ・過去の作品や友達のいいところを見つけて、自分の作品に活かしているか。 ・その授業で必要な物の管理(教科書・資料集・ファイルなどを忘れず持ってくるようにしましょう。)	どの授業でも、意欲的に楽しみながら受けましょう。 プリントなどでは、板書を写すだけではなく、メモをとるなどして、学びを深められるよう工夫してみてください。

保健体育

評価の観点		主な 評価の方法	どんなことに 気をつけて、学習すればよ いのか	家庭学習の アドバイス
知識 ・ 技能	主に、その 教科の「基 礎・基本」と なる知識や 技能が、習 得されてい るかを評価 します。	単元テスト 4教科テスト	・教科書、ノート、授業で扱う プリントの内容を覚えること	・ルールや 知識は 教科書や実技の本 を見て覚えよう
		実技テスト	・種目ごとの達成目標を取れるように 練習を行うこと	・家でもできる運動 をしよう
思考 ・ 判断 ・ 表現	習得した知識・技能を 取捨選択し、関連づけて、発展させ、工夫して活用したり、表現できるかを評価します。	レポート 話し合い活動 自己評価・相互評価 	・レポートや振り返りなど自身の考え をしっかりと書けているか ・課題に応じて、自ら考えて、工夫 して取り組んでいるか ・練習や試合の時に練習方法や戦術、 作戦などを考えて個人、チームに 応じて必要なものを判断し、実践 できているか ・自分の意見や考えを周りの人に 伝えたり、話し合いができているか	・教科書や実技の 本を見て、専門用 語を使ったり、自分 の意見をしっかりと 書けるようになるう 
		単元テスト・4教科テスト 実技テスト	・課題について創意工夫を凝らし、 表現できているか	
主体的 に学習 に取り組む態 度	「言われたことを指示通りやれる」だけでなく、粘り強く、工夫して、「自分なりの学び方」を自ら獲得しようと努力しているかを評価します。	授業態度	・出席状況(欠席、見学、遅刻、忘れ物) ・積極的に取り組もうとする姿勢 ・周りとの協力しようとする姿勢 ・ルールやマナーを守り、安全に 取り組もうとする姿勢 ・授業で使う道具を正しく使い、 準備や片付けもできているか	・教科書や実技の 本を見て、予習・復 習をして授業の準 備に挑もう
		レポート 自己評価・相互評価	・めあてをもとに自ら考え、技能を向上 するために工夫しているか	

技術家庭

評価の観点		主な評価の方法	どんなことに 気をつけて、学習す ればよいのか	家庭学習の アドバイス
知識 ・ 技能	主に、その教科の「基礎・基本」となる知識や技能が、習得されているかを評価します。	小テスト 実技テスト 作品点 授業のプリントやワーク レポート	・授業で使用するプリントやワークを復習しましょう。 ・実技では、工具や器具などの使用方法を理解し安全に扱しましょう。	
思考 ・ 判断 ・ 表現	習得した知識・技能を取捨選択し、関連づけて、発展させ、工夫して活用したり、表現できるかを評価します。	授業のプリントやワーク 作品点 レポート 	・習得した知識や技能を活用し、課題に取り組みましょう。 ・話し合いや発表などを通し、自分の意見を表現できるようにしましょう。	学んだ知識や技能を活用しましょう。 その活用の中で、よりよい生活を送るために工夫しましょう。 
主体的 に学習 に取り組む 態度	「言われたことを指示通りやれる」だけでなく、粘り強く、工夫して、「自分なりの学び方」を自ら獲得しようと努力しているかを評価します。	授業のプリントやワーク 授業の学び合いの様子 授業への取り組み 	・授業で使用するプリントやワークを丁寧にしっかりと記入しましょう。 ・学んだことをどのように生活にいかし工夫できるかを記入しましょう。 ・期日を守って提出しましょう。	

英 語

評価の観点		主な評価の方法	どんなことに 気をつけて、学習す ればよいのか	家庭学習の アドバイス
知識 ・ 技能	主に、その教科の「基礎・基本」となる知識や技能が、習得されているかを評価します。	・定期テスト ・単元別テスト ・パフォーマンステスト ・リスニングテスト ・単語テスト	毎日の授業を大切にしてください。 授業では基礎や基本を習うことが多いです。分からないところが出てきたら、その時に解決できるようにしましょう。 授業内でのパフォーマンステスト、単元テストに一生懸命取り組もう。	
思考 ・ 判断 ・ 表現	習得した知識・技能を取捨選択し、関連づけて、発展させ、工夫して活用したり、表現できるかを評価します。	・定期テスト ・パフォーマンステスト ・レポート ・授業プリント 	ペーパーテスト、スピーチテストなどでの発表、レポート作成、グループでの話し合いなどに積極的に取り組もう。	授業で習った基礎・基本事項を復習してください。 授業で習った英文法や問題を、「なぜそうなるか」「なぜその解答になるか」まで他の人に説明できるようにしましょう。
主体的 に学習 に取り組む 態度	「言われたことを指示通りやれる」だけでなく、粘り強く、工夫して、「自分なりの学び方」を自ら獲得しようと努力しているかを評価します。	・ペア、グループワークでの行動観察 ・パフォーマンステストへの取り組み ・ふりかえりシート ・レポート ・授業プリント ・単語テスト	毎日の授業に積極的に参加しましょう。 「言われたことを指示どおりやれる」だけでなく、粘り強く、工夫して、『自分なりの学び方』を自ら獲得できるように努力しましょう。 ふりかえりシートを使ってしっかり授業をふりかえり、記入するようにしましょう。	

その他の教科等の評価

道 徳



- 「議論する道徳」を実施し、評価するうえで、各学年教員が2人体制で評価シートを活用して授業を行う。
- 多面的、多角的に捉える思考力や発話、ワークシート、きらりノートの記述内容を学年全体で評価する。



総合的な学習の時間

- 自ら課題を見つけ、自ら学び、主体的に判断し、よりよく問題を解決しようとする資質、能力を身に付けようとしているかを、学校行事、学年行事、普段の学校生活から読み取り、総合的に評価する。

特別活動



- 学級や学校生活の中で、諸課題を解決する活動を自主的、自発的に行っているかを評価する。
- 文化的、体験的活動を通じて、学校や学年への連携意識を深め、実践態度や社会性を身につけているかを評価する。